

# は じ め に

ここに『国際交流基金日本語教育紀要』第7号をお届けします。

本紀要には、当基金の日本語教育事業に携わる国内外の日本語教育の専門家や職員等が日々の活動の中で取り組んできた問題や課題をまとめ、「研究論文」（研究成果に独創性がある理論的・実証的論文）、「研究ノート」（教育、教材開発などの実施過程でまとめられた中間研究報告）、「実践報告」（教育、教材開発などの実践の目的、特色、経過、成果などについて紹介・分析した報告）、「報告」（当基金が実施する事業に関する報告や海外の日本語教育関係機関の視察報告等）として執筆したものの中から、編集委員会による厳正かつ公平な審査のもと、計12編を選定し掲載しました。

国際交流基金は、2010年（平成22年）には、「JF 日本語教育スタンダード2010」を発表（3月）するとともに、新日本語能力試験を開始（7月）するなど、事業の一層の発展に取り組んでいます。

また、当基金が2010年7月に発表した「海外日本語教育機関調査」によれば、海外の日本語学習者は365万人を超え、3年前の前回調査（2006年）より22.5%増と拡大し続けています。こうした状況を受け、今後とも海外における日本語教育の更なる発展のため方策を講じ実施していきたいと考えています。

本紀要に対する皆様からの忌憚のない御意見、御批判をいただければ幸いです。

2011年（平成23年）3月

国際交流基金